

問1 でい岩は、どのようなつぶが固まってできた岩石ですか。

問2 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つぶの大きさと沈む順番にはどのようなきまりがありますか。

問3 れきが砂といっしょに固まってできた岩石を何とといいますか。

問4 地層をつくっているれきや砂に流れる水のはたらきがあったと考えられるとき、そのれきや砂にはどのような特徴が見られますか。

問5 火山の噴火によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶などが含まれる地層を何とといいますか。

問6 高い山の上で海の生物の化石が見つかることがあります。このように、大昔は水底だった場所が長い年月の間に押し上げられるなどして、土地の様子が変わることを何とといいますか。

問7 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何とといいますか。

問8 断層は、どのようなことが起きたときに大地に生じるずれですか。

問9 火山灰の層に含まれる石や粒には、どのような特徴がありますか。

問10 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問11 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つぶの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何とといいますか。

問12 川から運ばれた砂が、長い年月をかけて押し固められてできた岩石を何とといいますか。

問13 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を何とといいますか。

問14 地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを何とといいますか。

問15 よう岩とは、どのようなことが起きたときに、火山から何が流れ出たものですか。

問16 火山の噴火によって、地下にあったマグマが地表に流れ出たものを何とといいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え どろなどの細かいつぶ	でい岩は、どろなどの細かいつぶが押し固められてできた岩石です。
問2	答え つぶが大きいものほど先に沈む。	流れる水で運ばれたものは、重くてつぶが大きいもの（れきなど）ほど先に沈み、小さくて軽いつぶ（どろなど）はあとに沈みます。
問3	答え れき岩	れきが砂といっしょに固まってできた岩石をれき岩といいます。
問4	答え 角がとれて丸みを帯びている。	流れる水のはたらきによって運ばれたれきや砂は、角が削られて丸みを帯びるとい特徴があります。
問5	答え 火山灰の層	火山の噴火によってふき出された火山灰などが風に運ばれて積もってできた地層を、火山灰の層といいます。
問6	答え 大地の変化	大昔は海の底などの水底だった場所が、長い年月の間に押し上げられて高い山になるような土地の移り変わりを大地の変化といいます。
問7	答え 化石	大昔の生きものの中から生活のあとが残ったものを化石といいます。
問8	答え 地震が起きたとき	断層は、地震が起きたときに大地に生じるずれのことです。
問9	答え 角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれている。	火山灰の層には、火山の噴火によってできた角ばった石や、小さなあながあいた石、結晶などが含まれるとい特徴があります。
問10	答え 流れる水のはたらき	地層の中のれきや砂の角がとれて丸くなっているのは、流れる水のはたらきによって運ばれ、地層がつくられたことを示しています。
問11	答え 流れる水によるたい積	流れる水によって運ばれた土砂が水底に積もることを「たい積」といいます。つぶの大きさによって分かれて積もるのが特徴です。
問12	答え 砂岩	砂が固まってできた岩石を砂岩といいます。
問13	答え 火山のふん火	火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を「火山のふん火」といいます。
問14	答え 断層	地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを断層といいます。
問15	答え 噴火によってマグマが流れ出たもの	よう岩は、火山の噴火によって地下のマグマが流れ出たものことです。
問16	答え よう岩	火山の噴火によって、地下のマグマが地表に流れ出たものをよう岩といいます。